

KANSAI

関西アカデミア

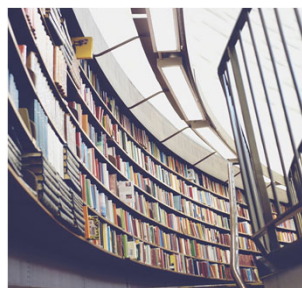
金融の力 × KSII

大阪医科薬科大学
大阪工業大学
大阪公立大学
大阪大学
関西大学
関西学院大学
京都芸術大学
京都大学
京都府立医科大学
京都府立大学
近畿大学
奈良先端科学技術大学院大学

神戸大学
滋賀医科大学
滋賀県立大学
摂南大学
同志社大学
奈良県立医科大学
兵庫県立大学
立命館大学
龍谷大学
和歌山大学

第2回Challenge万博 『いのち輝く未来社会』へ

関西主要大学による2025年大阪・関西万博が目指す未来がみえるシーズマッチング&セミナー



2025年大阪・関西万博で全世界より注目を集める関西を代表する22の大学が、「いのち輝く未来社会」を連想させるような胸が高鳴る最先端の技術やビジネスモデルを持ち寄り、新たなオープンイノベーションや産学連携を創出します。

当日はセミナーのほか、万博や参加大学が集結した展示を行います。

さらに、産学融合拠点創出を担う関西イノベーションイニシアティブ(KSII)のホームページに、参加大学選りすぐりのスタートアップ等を紹介するスペシャル動画サイトを開設します。

ビジネスマッチングを希望されるお客様向けに、後日ビジネスマッチングを予定しております。

開催日時

2022.11.24(木)・11.25(金) 12:30～18:00

開催場所

オンサイト:三井住友銀行本店東館3F SMBCホールおよびホワイエ<セミナー/展示>

[アクセス] 東京都千代田区丸の内1-3-2 地下鉄「大手町駅」C14出口直結

オンライン:Webexによる配信<セミナー>

参加費

無料

お申込み方法

以下ページ内の申込みフォームよりお申込みください【締切 2022.11.22】

<https://ksii.jp/event/challenge-expo-2022/>

スペシャル動画サイト

<https://ksii.jp/challenge-expo-2022-movie/>

参加申込みは
こちら



動画サイトは
こちら



主催 関西イノベーションイニシアティブ(KSII)、三井住友銀行

共催 池田泉州銀行 京都銀行 りそな銀行 関西みらい銀行 みなと銀行 紀陽銀行 滋賀銀行 但馬銀行
南都銀行 日本政策投資銀行 三井住友信託銀行

協力 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)
バイオコミュニティ関西(BiocK)

後援 経済産業省 近畿経済産業局 公益社団法人関西経済連合会 一般社団法人関西経済同友会 大阪商工会議所
京都商工会議所 神戸商工会議所 公益財団法人大阪産業局 一般社団法人京都知恵産業創造の森 ※予定含む

お問い合わせ先

関西イノベーションイニシアティブ
(代表幹事機関:公益財団法人都市活力研究所)
金山 秀行
TEL 06-6359-1322
Mail kanayama@urban-ii.or.jp

株式会社三井住友銀行
法人戦略部(大阪)
野川 拓也
TEL 06-6227-3219
Mail Nogawa_Takuya@ra.smbc.co.jp



Kansai Innovation Initiative

関西イノベーションイニシアティブ



SMBC

三井住友銀行

ご留意点

以下の利用目的をご確認のうえ、お申込みください。

＜お客さまの情報の利用目的について＞

私どもは個人情報の保護に関する法律(平成15年5月30日法律第57号)に基づき、お客さまの個人情報を、預金や融資業務のほか、銀行が営むことができる業務およびこれらに付随する業務において、下記利用目的で利用いたします。

金融商品やサービスの申込受付、資格等の確認、継続的なお取引における管理、融資取引やリスク商品等の適合性の判断、金融商品やサービスの研究や開発、各種ご提案、お取引の解約や事後管理、権利の行使や義務の履行、与信業務における個人情報機関の利用、委託業務の遂行等、お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため。

なお、個人情報情報機関より提供を受けた個人情報情報、ならびに金融分野における個人情報保護に関するガイドライン(平成16年金融庁告示第67号)に定められた機微(センシティブ)情報は銀行法施行規則等に基づき限定されている目的以外では利用いたしません。

※お申込み時にご記入いただいた内容は、以下の機関においてに共有し、本セミナーの実施及び各種サービスに関するお知らせ、各種情報提供業務のために適切に管理し利用させていただきます。

関西イノベーションイニシアティブ(KSII)、三井住友銀行、池田泉州銀行、京都銀行、りそな銀行、関西みらい銀行、みなと銀行、紀陽銀行、滋賀銀行、但馬銀行、南都銀行、日本政策投資銀行、三井住友信託銀行、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、
大阪神スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)、バイオコミュニティ関西(BiocK)、経済産業省、近畿経済産業局、
公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同友会、大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所、公益財団法人大阪産業局、
一般社団法人京都知恵産業創造の森、大阪医科薬科大学、大阪工業大学、大阪公立大学、大阪大学、関西大学、関西学院大学、京都芸術大学、
京都大学、京都府立医科大学、京都府立大学、近畿大学、神戸大学、滋賀医科大学、滋賀県立大学、摂南大学、同志社大学、奈良県立医科大学、
兵庫県立大学、立命館大学、龍谷大学、和歌山大学、奈良先端科学技術大学院大学

お申込み方法

以下のページ内の申込みフォームにアクセスし、参加申込をお願いいたします。

<https://ksii.jp/event/challenge-expo-2022/>

- URLまたはQRコードよりアクセスください。
- 必要情報を入力の上「送信」をクリックしてください。

※オンサイト会場では、セミナー以外に各大学からの展示を行っております。体験型展示も予定しておりますので、是非会場に足をお運びください。

※オンライン配信にて参加を申込まれた方には、申込み完了後、セミナー視聴に必要なURLが送信されます。

参加申込みは
こちら



オンライン配信の視聴方法

セミナー開始時間の15分前よりWebexへのアクセス受付を開始いたします。以下のいずれかの方法にてご参加ください。

1. Webexからの視聴登録完了メールに記載の「イベントに参加」ボタンをクリック
「今すぐ参加」ボタンをクリック
2. お申込み時に送信された視聴用URLより、ご視聴ください。

＜オンライン配信におけるご留意点＞

- ◆ 各プログラムの講演者及びテーマについては、予告なく変更させて頂く場合や、各プログラムの進行によっては、予定時刻が前後する場合がございます。予めご了承ください。
- ◆ インターネットへの接続にあたり、お客様ご負担の通信料が必要となりますので、Wifi環境でのご視聴を推奨いたします。
- ◆ ご使用の機器やネットワーク環境によっては、映像や音声に不具合が生じる場合がありますので、予めご了承ください。

スペシャル動画サイトのご案内

- ◆ 各大学の魅力あふれる研究シーズ等をもとに事業を展開するベンチャー企業の動画を多数掲載しております。
- ◆ 以下のサイトにアクセスし、ぜひご覧ください。

<https://ksii.jp/challenge-expo-2022-movie/>

【サイト開設期間】2022年11月24日～2023年3月31日(予定)

- ◆ 本動画にて紹介されている企業との商談をご希望されるお客さま向けに、後日ビジネスマッチングを予定しております。イベントのアンケートおよび動画サイト内にてビジネスマッチングのご案内を掲載しておりますので、そちらからお申込みください。

動画サイトはこちら



24日(木)プログラム

12:30	受付開始		
13:00	開会	ご参加の皆様へのご案内	
	開会挨拶 関西イノベーションイニシアティブ(KSII) 関西経済同友会/三井住友銀行	総括エリアコーディネーター 代表幹事/取締役副会長	村尾 和俊 氏 角元 敬治 氏
13:10	公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 『大阪・関西万博について』	機運醸成局長 兼地域・観光部長	堺井 啓公 氏
13:30	奈良先端科学技術大学院大学 『認識AIを誰でも迅速に賢くできる!!!』	クロスアポイントメント 特任助教	清川 拓哉 氏
13:45	神戸大学 『超Smart社会推進室』	産官学連携本部 特命教授	長廣 剛 氏
14:00	和歌山大学 株式会社G1 company	代表取締役	小柴 恵一 氏
14:15	関西学院大学 『視るトレ社会実装プロジェクト』	工学部情報工学課程教授	山本 倫也 氏
14:30	ご休憩・名刺交換会		
14:40	京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC) 『関西のChallenge I』	KSACプログラム代表者 京都大学産官学連携本部長	室田 浩司 氏
14:50	同志社大学 株式会社SOCRAH(ソクラ)	代表取締役	津村 宏臣 氏
15:05	和歌山大学 『病気の原因になる特殊なDNA構造を見つけ出す蛍光色素』	システム工学研究科 准教授	坂本 隆 氏
15:20	バイオコミュニティ関西(BiocK) 『関西のChallenge II』	副委員長兼統括コーディネーター 大阪大学共創機構 特任教授	坂田 恒昭 氏
15:30	大阪大学 株式会社JiMED	代表取締役	中村 仁 氏
15:45	京都府立医科大学 YANCHERS株式会社	保健看護学研究科 教授	島田 順一 氏
16:00	ご休憩・名刺交換会		
16:10	奈良県立医科大学 モルミル株式会社	代表取締役	森 英一朗 氏
16:25	近畿大学 『自由に行動出来て中腰姿勢をサポートするウェアラブルチェア』	理工学部エネルギー物質学科 講師	池田 篤俊 氏
16:40	京都府立大学 未来食研究開発センター株式会社	代表取締役	増村 威宏 氏
16:55	京都芸術大学 株式会社クロステック・マネジメント	取締役	吉田 大作 氏
17:10	動画サイト・マッチング案内		
	挨拶 関西イノベーションイニシアティブ(KSII)	上級エリアコーディネーター 大阪大学共創機構 機構長補佐 イノベーション戦略部門部門長・教授	北岡 康夫 氏
18:00	名刺交換会後散会		

ビジネスマッチングに関するご案内

- ◆ 本イベント実施後、ご希望されるお客さま向けにビジネスマッチングを予定しております。本イベント実施後のアンケートへお客さまのご要望をご記入願います。個別にご案内させていただきます。
- ◆ スペシャル動画サイトにて紹介されている大学発ベンチャー企業もしくは大学研究室とのビジネスマッチングをご希望のお客様は、動画サイト内にビジネスマッチングのご案内を掲載しておりますので、そちらからお申込み下さい。
- ◆ 尚、ご記載いただきました内容などによってはご希望に沿えない可能性がございます。予めご了承下さいますようお願い申し上げます。

25日(金)プログラム

12:30	受付開始		
13:00	動画サイト・マッチング案内		
13:05	新生 大阪公立大学 『関西のChallengeIII』	副学長	藤村 紀文 氏
13:15	大阪公立大学 株式会社サルス研究所	取締役CTO	小島 明子 氏
13:30	大阪公立大学 Nano-Q(設立予定)	大学院工学研究科 准教授	高橋 和 氏
13:45	京都大学 株式会社Luxonus	取締役CTO	八木 隆行 氏
14:00	兵庫県立大学 アフォードセンス株式会社	代表取締役	樋口 行平 氏
14:15	ご休憩・名刺交換会		
14:25	万博セミナー 『持続可能な大阪・関西万博開催に向けた取組み ～未来社会の実現～』 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会	企画局持続可能性部長	永見 靖 氏
14:45	立命館大学 『知能システムを用いた知的インタラクション』	情報理工学部 教授	李 周浩 氏
15:00	滋賀県立大学 『熱音響技術・超音波エレクトロニクス』	工学部電子システム工学科 准教授	坂本 眞一 氏
15:15	大阪大学 ネクスファイ・テクノロジー株式会社	代表取締役社長	中村 孝 氏
15:30	大阪工業大学 株式会社fineOptimAI	代表取締役	黒田 規義 氏
15:45	ご休憩・名刺交換会		
15:55	関西イノベーションイニシアティブ(KSII) 『関西のChallengeIV』	副統括エリアコーディネーター	北川 雅俊 氏
16:05	大阪医科薬科大学 『病院食のAIによる最適化』	大学病院 栄養部 栄養課 課長	志水 晃介 氏
16:20	関西大学 株式会社キューブ(Ku:P)	代表取締役	西岡 健一 氏
16:35	東京大学・京都大学 株式会社アルガルバイオ	代表取締役	木村 周 氏
16:50	動画サイト・マッチング案内		
	閉会挨拶 三井住友銀行	理事	高宮 進 氏
18:00	名刺交換会後散会		

三井住友銀行 東館へのアクセス

東京都千代田区丸の内1-3-2

電話 03-3282-1111(代表)

東館3階 SMBCホール・ホワイエ

□地下鉄 東西線、千代田線、
都営地下鉄 三田線の各大手町
駅より徒歩3分

*地下鉄『C14出口直結』

□JR東京駅(丸の内北口)より
徒歩10分



関西主要大学による2025大阪・関西万博が目指す未来がみえる

スペシャル動画サイト

関西イノベーションイニシアティブ(KSII)のホームページに、参加大学選りすぐりのベンチャー企業等を紹介するスペシャル動画サイトを開設します。
各大学の魅力あふれる研究シーズ等をもとに事業を展開するベンチャー企業の動画を多数掲載しておりますので、以下のサイトにアクセスし、ぜひご覧ください！

開設期間

2022年11月24日～2023年3月31日(予定)

動画サイトは
こちら



URL

<https://ksii.jp/challenge-expo-2022-movie/>

スペシャル動画サイトに登場するベンチャー

大阪工業大学

合同会社ゆいまーるイノベーション
分散センサ・AIによる人流検知システム

滋賀医科
大学

株式会社Medpreneure
脳卒中の早期発見

大阪公立大学

三谷電池株式会社
新種の蓄電池の開発

同志社大学

AfterConnect
オンライン仏壇

大阪大学

株式会社エスケープファイン
セラミック造形3Dプリンター技術

奈良県立
医科大学

MBT感染対策支援コンサル
ティング株式会社
感染対策の助言や実地指導

関西大学

ORAM株式会社
メカトロ・センシング・遠隔/自動化技術

奈良先端
科学技術
大学院大学

株式会社amirobo tech
環境知能学的ICTを用いたロボット・アプリ

京都大学

株式会社 マリ
睡眠時無呼吸症候群(SAS)に対する
ソリューション

兵庫県立
大学

株式会社計算科学研究所
分子動力学シミュレーションの指導・コン
サルティング

神戸大学

株式会社TearExo
涙を利用したがん検出

立命館大学

株式会社ARK
閉鎖循環式陸上養殖システム

ビジネスマッチング

- ◆ スペシャル動画サイトにて紹介されている企業との商談をご希望されるお客さま向けに、後日ビジネスマッチングを予定しております。
- ◆ ご希望の方は、イベントのアンケート内および動画サイト内にて、ビジネスマッチングのご案内を掲載しておりますので、そちらからお申込みください。

<別紙> 登壇予定の大学発ベンチャー・シーズについて

1

奈良先端科学技術大学院大学

研究シーズ

■ 事業内容・シーズ概要

認識AIを誰でも迅速に賢くできる！！

深層学習による画像認識器の構築において、大量の教師画像データの収集に手間と時間がかかり非常に大変です...そのため、商品・製品点数の多い現場での認識AIの導入が現実的でない状況です...本シーズはそのボトルネックを改善するため、Webアプリをインストールした端末(スマホやタブレットなど)を用いて、AR機能で表示されるガイドに応じて物体の概観を満遍なく撮影していくだけで、自動で教師ラベルを振ってくれるながら大量のデータセットを収集できる技術となっています。

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

端末画面に表示するAR機能によりゲーム感覚で楽しんで収集できる点がキモ！
技術の根幹である視覚マーカを用いた教師ラベルの自動注釈手法は特許取得済み。

- 1 特許US 11,276,194 学習データセット作製方法及び装置
- 2 特許第6474179号 学習データセット作製方法、並びに、物体認識及び位置姿勢推定方法



■ 連携業種・期待される効果

特に、固形廃棄物処理/製造・組立/物流/小売り業界でのロボット活用における課題解決に対して非常に意欲があります。

1. 業務上の画像データセット収集で困っている企業様
2. ロボットビジョンに関する研究開発を実施されている企業様

特許活用、共同開発による現場仕様の技術への拡張を通し、貴社の生産性の大幅な改善、および共同開発技術・サービスとしてリリースを実現！

■ 基本情報

所在地：奈良県生駒市高山町8916-5
大学名：奈良先端科学技術大学院大学(奈良先端大、NAIST)大学HP：<http://www.naist.jp/>
研究室：ロボットラーニング研究室

■ 登壇者紹介・略歴

清川 拓哉



クロスアポイントメント特任助教
所属：奈良先端大、大阪大に所属
略歴：熊本高専 奈良先端大(工学博士)
専門領域：ロボットビジョンと動作計画
個人HP：<https://takuya-ki.github.io/>

■ 研究者から一言

SDGsの解決に産学連携で取り組みたく、ご協力歓迎します！

2

神戸大学

研究シーズ

■ 事業内容・シーズ概要

超Smart社会推進室 全国20数か所で導入が進む
AIスマート空調&ウイルス除去

【自ら価値創造するSSC推進室の概要】

外部資金によって自立運営する超スマート社会推進室(SSC室)
・世界初の50%以上省エネを実証した「AIスマート空調技術」を開発
・全国トップクラスの共同研究(約1.6億円/年・26件)を獲得

神戸三宮地下街で開発したAIスマート空調		外部資金	令和3年度 172,710千円	令和4年度 164,840千円
空調電力60%超削減を実証		SSC室の給与を含めた全ての費用を外部資金化		
世界初として、2019年新聞やYahoo!トップ記事に掲載		実証結果	スーパー ▲90% 空調機不要	某百貨店 ▲79% AI-Smart
民間との共同研究による分野横断展開		カーボンニュートラル	地下街への展開 5万t/年	某地下街 ▲68% 長照設計
2020年		普及展開	空港・駅への展開 25万t/年	某市庁舎 ▲51% 公共施設
2021年		新技術開発	三越伊勢丹、阪急阪神に導入開始	
2022年		リカレント教育	某スーパー新店へ標準装備化(約3,000店舗)	
2023年		課題	某コンビニ舗及モデル開発(約20,000店舗)	
2024年			某メーカー数社と製品開発開始	
2025年			工学研究科との連携によるインテリジェントバイパスシステムの開発・事業化	
2026年			※NEDOの採択市場規模約2兆円/年	
2027年			AH化、RT化に伴う余剰人員をリカレント教育し、大学発の先端技術を社会へ普及するニューカラー人材を育成する社会人講座を構築	
2028年			ホールディングス対研究室の共同研究	
2029年			人材不足と採用方法の限界	
2030年			大学の事務や規則が社会実装に過ぎない	

得られた知見を研究と教育、そして社会へ

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

本学との共同事業で社会実装から、新技術人材育成まで支援
破壊的省エネ(脱炭素)による大学の新たな価値創造を皆様と共に

■ 連携業種・期待される効果

- ・既に、全国の百貨店やスーパー、空港や鉄道駅で導入が進んでいます。カーボンニュートラルの実現を目指す人は是非、参集してください。
- ・これからの大学の在り方だけでなく、社会を先端技術で変革します。また、働き方や社会人の学び直し機構なども構築してゆき、未来のあるべき姿を実現してゆきます。

■ 基本情報

所在地：兵庫県神戸市灘区六甲台町
大学法人名：神戸大学 産官学連携本部SSC推進室
大学HP：<https://www.kobe-u.ac.jp/>

■ 登壇者紹介・略歴

長廣 剛



【自己紹介】

長廣 剛 建築設備・エネルギー・熱流体分野神戸大学 産官学連携本部 特命教授
一般社団法人 SSCA2.0 代表理事、株式会社ユニテック 顧問一般社団法人 超スマート社会研究機構 理事
【開発研究の略歴】
平成24年、大阪市立大学にSmartCity技術を研究開発する体制を設置、本格的な産学連携を実現しインテックス大阪にサーマルグリッド技術を実装。平成28年に神戸大学に移籍したことを切掛けに、産学連携による都市イノベーションを誘引すべく低炭素技術を開発した研究機関を設け超スマート社会の実現に向けた研究開発を実施。平成28年に環境省地球温暖化対策事業に採択され、人流等をIoTを用いて把握し、AIで予測することで約50%の省エネ・低炭素化を実証した。

■ 社長(研究者)から一言

新技術で何度、失敗しても大学で学び直して新たにチャレンジできる
そんな社会を創造して、先端技術で経済を活性化した
未来が明るい日本を共に作りませんか。

3 株式会社 G1 company

事業内容・シーズ概要

臨場感を届ける最適ソリューション提供により
「行かない観光」
 をプロデュースします

「写真の発明」×「蒸気機関車の商業化」により、1830年代に観光産業が生まれ、モビリティの時代が始まった。。そして、今、2020年代となり、**「VR技術」×「ネットワーク」の進化**にて、バーチャリティを活かした、これまでにない「行かない観光」の時代がやってきた。



コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

東京2020大会にて得たVR技術・制作ノウハウ・ネットワークをベースに、大阪・関西万博で来訪するインバウンドに向けたバーチャルツーリズム市場創造を様々な協働により実践中



和歌山大学(発)ベンチャー企業

連携業種・期待される効果

1. 地方自治体、イベント事業者、ホテル事業者、旅行会社さま
 > 観光地・イベント等の魅力をVRコンテンツ+ (ドーム) 空間にて表現
2. 専門学校等の教育機関さま
 > HMDコミュニケーションにより、実地以上に効果的な研修を運営
3. 老人ホーム施設、特別支援学校さま
 > 個々のご要望に合わせたコンテンツ制作により、お客様の夢を実現

基本情報

所在地: 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル2F
 代表取締役: 小柴 恵一
 設立年月日: 2022年10月8日
 会社HP: <https://genki-1.com>
 資本金: 950万円
 所在地: 和歌山県 和歌山市 栄谷 930
 大学法人名: 国立大学法人 和歌山大学
 大学HP: <https://www.wakayama-u.ac.jp/>

登壇者紹介・略歴 小柴 恵一



1989年 Panasonic(当時松下電器産業)に入社以降、家電メーカーの視点からコンテンツ・サービスのイノベーション事業立ち上げに取り組む
 2014年 Panasonicから東京2020組織委員会へ出向以降、和歌山大学尾久土教授と共に、臨場感スポーツLIVE配信を企画
 2021年 大会期間中に本施策を自ら実施、兼任する和歌山大学客員フェローとして結果を分析

社長(研究者)から一言

弊社フィロソフィーである、Globe One, Groove One and 'Genki' is the Oneのもと、バーチャルツーリズム市場を皆さまと共に創造したいと思っています。

4 関西学院大学

事業内容・シーズ概要

視るトレ社会実装プロジェクト

「視る力」を向上させる眼球運動トレーニングを
 アートとテクノロジーの力で広く社会へ

視力ではなく、眼球の運動の問題で「読み」や球技が苦手な児童が多いことや、成長が止まる中学生以降でも眼球運動のトレーニングでその問題が改善されることが報告されている。本プロジェクトでは、「アート×テクノロジー」による魅力的なコンテンツと信頼できるビッグデータを活用した新しいアプローチで、眼球運動トレーニングの社会への本格的な普及展開を狙う。

コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

眼球運動トレーニングはこれまで、海外で資格を取得した専門家を中心に、アナログ的、ノウハウ依存のカたちで行われてきた。研究室では、必要とするすべての児童に届けることを目標に、国内大手ナックイメージテクノロジー社の視線計測装置EMR ACTUSに導入された視線計測技術等をベースに、眼球運動トレーニングのデジタル化、AI化のコア技術の開発を推進してきた。本プロジェクトでは、ここに映像コンテンツの魅力を取り込み、いかに学習教材風という雰囲気ではなく、家族が日常的に楽しめるクラウド型のトレーニングシステムの開発し、この普及展開と、そこから得られるデータをもとにビッグデータ駆動型の眼球運動トレーニング社会を実現させる。問題を抱える児童の家庭へのBtoCサブスクリプション、学校や保健センター、トレーニング施設へのBtoBリース(下図)などの製品・サービスを予定している。



開発したプロトタイプ
 小学校での実証実験の様子

研究シーズ

連携業種・期待される効果

1. 子ども向けの新しいコンテンツ開発で困っている企業さま
 当プロジェクトとの連携により、未開拓分野での市場展開を実現
 (例:教育コンテンツ、ゲームコンテンツ分野など)
2. 新しいヘルスケア領域を狙っている企業さま
 当プロジェクトとの連携により子どもから高齢者まで、ニューノーマルとなる診断、トレーニングを実現
3. 大学発ベンチャーの起業支援にご関心のあるVCさま
 新規ビジネスの創出を継続検討中です

基本情報

所在地:兵庫県三田市学園上ヶ原1番
 大学法人名:関西学院大学
 大学HP:<https://www.kwansei.ac.jp/>
 研究室HP:<https://cs.kwansei.ac.jp/~yamamoto/>

登壇者紹介・略歴 山本 倫也



現職:関西学院大学同工学部情報工学課程教授
 2002年京都大学大学院エネルギー科学研究科博士後期課程修了。同年、岡山県立大学情報工学部情報システム工学科助手、2007年同助教、2009年関西学院大学理工学部人間システム工学科准教授、2015年同教授、2021年同工学部情報工学課程教授、現在に至る。身体性メディア技術、視線インタラクションの研究に興味をもつ。博士(エネルギー科学)

社長(研究者)から一言

現場で子どもたちに触れ、トレーニングを届けることの重要性、それに対する大きな期待を感じています。ぜひとも事業化を進めたいと考えております。よろしくお願いいたします。

5 株式会社 SOCRAH (ソクラ)

同志社大学(発)ベンチャー企業

■ 事業内容・シーズ概要

文化・社会資源のDXで

全ての人々に「知」を届ける

文化/社会/自然遺産の調査・研究事業
各種遺産資源のデジタルコンテンツ化・共有化・アーカイブ促進事業
歴史・文化の遺産コンテンツに関するAR・VR・MR観光コンテンツ製作事業
地域創生・地域教育(郷育)コンサルティング事業
メタバース構築による地域・教育・観光促進事業
学校教育現場での地域オリジナル歴史・社会教材創出事業
社・介護・医療現場でのメタバース応用促進事業
各種物理探査技術による埋蔵文化財の3次元デジタル化事業
教育(郷育)用WEBコンテンツ、アプリ開発事業
地域社会調査・動態シミュレーション事業



■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)



小学校でのVR修学旅行(企画/運営)



メタバース空間のAI学芸員

“R”を再現する現場のDX
当社は文化・社会資源のDXコンテンツの調査・研究から社会実践まで「ワンストップ」で実現する知識と経験を有した企業です。そのため、多様なリアル“R”の実体を再現するコンテンツ製作から、利用実態調査まで

を総合的にサポートします。そこから知識情報を集積し、メタバース空間でAIが各種サービスを提供する未来を創造しています。

■ 連携業種・期待される効果

- 1.教育(郷育)・観光促進資源、地域創生事業に関連する企業様
当社との連携により、地域文化・社会・伝統に関連する事物の基礎調査から活用フェーズまで、専門家が「ワンストップ」で企画・運営いたします。
- 2.地域資源のDX化の促進で異世界融合を狙う企業様
当社との連携で地域資源をコアにしたメタバース実装とサイバー空間での時空を越えたサービスの提供を可能とします。

■ 基本情報

所在地:〒610-0332 京都府京田辺市興戸地藏谷1番地D-egg311号室
代表取締役: 津村宏臣
設立年月日: 2022年2月21日
会社HP: <https://socrah.jp/>
資本金: 250万円

所在地:〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3
大学法人名: 学校法人 同志社
研究開発推進機構 文化遺産情報科学調査研究センター
大学HP: <https://www.doshisha.ac.jp/>

■ 登壇者紹介・略歴 津村 宏臣



1973年 出生
2002年 博士(文学)(総合研究大学院大学)
2005年 同志社大学文化情報学部 赴任(現:准教授)
...
2009年 同志社大学文化遺産情報科学調査研究センターセンター長(～現在)
2012年 小豆島町世界遺産化対策室運営委員長(～17)
2018年 真庭市政策アドバイザー(～現在)
...
2007年 NPO法人 京都文化財建造物研究所理事(～09)
2015年 NPO法人 人文社会調査研究支援機構代表理事(～18)
2022年 株式会社 SOCRAHを設立 代表取締役

6 和歌山大学

研究シーズ

■ 事業内容・シーズ概要

病気の原因になる特殊なDNA構造を見つけ出す蛍光色素

私たちの体を形作る細胞の中で最も重要な遺伝情報を担うDNAは、通常2重らせん構造で存在しています。しかし最近、4重鎖DNAなどの特殊なDNA構造が、タンパク質合成の制御に関わることで、また、癌などの疾患にも関連することが明らかになりつつあります。

私たちは、生きた細胞内の4重鎖DNAを、2重鎖DNAとを色分けして蛍光顕微鏡イメージングできる、新しいタイプの蛍光色素の開発に成功しました。

4重鎖DNAを標的とする治療薬のスクリーニングや、検査薬、診断薬への展開が期待できます。

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

■ 核酸構造検出用の蛍光色素の分子設計・合成

核酸の構造を見分けて検出できる蛍光色素群の分子設計技術、合成技術を持っています。

■ 網羅的な核酸構造分析系の構築

上記の蛍光色素を用いた分析システムの構築技術を持っています。また、これを基盤とするハイスループット薬剤スクリーニングシステムの開発に取り組んでいます。

■ 高感度・簡便・安価な遺伝子検出技術

蛍光色素と化学合成DNAを用いた、安価で誰でも使える遺伝子検査技術の開発に挑戦しています。

■ 連携業種・期待される効果

- 特殊な核酸構造を標的とする新薬開発を狙っている企業さま
特殊な核酸構造を標的とする新薬候補のハイスループットスクリーニングシステムを実現することで、新薬候補物質の効率的な探索が可能になります。
- 新たなPOCT機器の実現を狙っている企業さま
特殊な核酸構造を疾患マーカーとする疾患診断技術を確認することで、臨床現場即時検査(POCT)を実現し、医療現場に貢献できます。

■ 基本情報

所在地:〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930
大学法人名: 国立大学法人和歌山大学
大学HP: <https://www.wakavama-u.ac.jp>

■ 登壇者紹介・略歴 坂本 隆



1976年 生まれ
2005年 博士(学術) 取得(京都工芸繊維大学)
2005年 京都工芸繊維大学・博士研究員
2007年 京都大学・博士研究員
2009年 北陸先端科学技術大学院大学・助教
2016年 和歌山大学・准教授(現職)

■ 社長(研究者)から一言

大学の研究成果を社会実装しマネタイズすることは、日本の大学、および日本経済の再興のカギになると考え、研究に取り組んでいます。

7

株式会社JiMED

大阪大学(発)ベンチャー企業

■ 事業内容・シーズ概要

デジタルの力で身体機能を代替しSocial Painを解決する
「考えただけで機器の操作を可能とする新時代のインタフェースです」

ワイヤレス型植込みBMI（ブレイン・マシン・インターフェース）を用いる新しいヘルスケアソリューションである。ALS患者や重度の脊髄損傷をはじめとする完全四肢麻痺の閉じ込め状態になる前の患者さんの頭蓋内に植込み脳波計を留置する。植込み脳波計は、運動野の微弱な高周波脳活動を鋭敏かつ長期間安定して検出でき、ワイヤレス通信により体外の脳波解読装置に送信する。脳波解読装置はAIによる高周波脳活動に含まれる運動企図を正確に解読する。解読された運動企図は、時間解像度の高いスイッチやフリックとして利用でき、市販の意思伝達装置やスマートデバイス、および外骨格ロボットアームの操作を可能とする。

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

電極、脳波計における独自技術による高解像度の脳波信号を取得、および脳波信号の送受信および給電をワイヤレスで実行可能



■ 連携業種・期待される効果

協業・投資をご検討されている企業さま
 当社との連携により予防・治療法のない難病や障害を抱える患者さんへのヘルスケアソリューション・サービスの展開が可能となります。
 （弊社のBMIシステムとの連携機器・アプリの開発・製品展開、販売に関するアライアンス、など）

■ 基本情報

所在地：大阪府吹田市山田丘2番8号 テクノアライアンスC棟 705
 代表取締役：中村仁
 設立年月日：2020年3月26日
 会社HP：<https://www.jimed.jp>
 資本金：5千万円

所在地：大阪府吹田市山田丘2番2号
 最先端医療イノベーションセンター 913A
 大学法人名：大阪大学
 大学HP：<https://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/ndr/>

■ 登壇者紹介・略歴 中村 仁



アステラス製薬（研究本部）、デロイトトーマツコンサルティングを経て現職。
 アステラス製薬では主に細胞医療等製品やがんワクチンに係る薬理試験やプロジェクトマネジメント、デロイトでは国内外の大手製薬会社や医療機器会社の経営支援を担当。
 京都大学大学院医学研究科修了。

■ 社長(研究者)から一言

植込みBMIの市場展開は世界初の試みです。本技術の社会実装を実現することで、病氣と向き合う患者さんにこれまでになかった希望ある選択肢を提供すること、また未来の新しいインタフェースの礎を築きたいと思います。

8

YANCHERS株式会社

京都府立医科大学(発)ベンチャー企業

■ 事業内容・シーズ概要

オープンイノベーションを医療機器にものづくり、「ちえづくり®」、ひとつづくりを駆使して様々な場面で人々に感動を



ちえづくり®：聴診音の解析システム（特開2022-105244）、AuroraScope® 非磁性医療機器（特許6975504）
 MagneticStealth® NanoPore® 固形癌治療剤（特許6447858）
 ものづくり、ミラー®鉗子、ロータリーD®
 文化財照明：京都清水寺夜間拝観照明
 東寺、金堂、清水寺LED時計台
 アフリカ：キャパシタ&CAPOSOL事業

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

- 医療機器開発コンサルティング
 白色LEDの医療応用を追求するなかで培ってきたノウハウをもとに、医工連携開発の事業リスクを低減し、クライアントの持続的で確実な成長を支援するコンサルティングサービスでクライアントを支援。
- 文化財照明事業・太陽電池LED照明&蓄電装置
 文化財のLED照明装置として 京都 清水寺・東寺の照明装置を展開。キャパシタ蓄電式太陽電池システムはLED照明だけでなく、アフリカでの携帯電話電源としても注目。
- Team In KYOTO (TIK) 運営
 ビジネスエコシステム形成につながるオープンイノベーションを体感できる異業種企業の会員制毎月1回の勉強会。
- クリニック・リノベーション
 医療DXシステムを最大限活用できるクリニック運営。

■ 連携業種・期待される効果

当社から、電子カルテ関連のアプリ開発企業と共同開発希望。在宅・遠隔医療、認知症管理システム、腸内細菌関連など

- 1) シーズがあり医療機器開発に悩んでいる企業様
 当社との連携により、より社会実装に近い現実的な対応策を共創。
- 2) 医療分野での事業拡大を狙っている企業様
 当社との連携により、異業種視点での多様性に富んだ展開を実現。

■ 基本情報

所在地：京都市中京区堅大恩寺町753ロワイヤル室町102号
 代表取締役：島田洋子
 設立年月日：2005年3月25日
 会社HP：[HTTPS://WWW.YANCHERS.JP](https://www.yanchers.jp)
 資本金：100万円

■ 登壇者紹介・略歴 島田 順一



京都府立医科大学大学院保健看護学研究科教授
 1962年大阪生まれ。京都府立医科大学 医学部卒業
 京都府立医科大学大学院医学系研究科 外科学専攻課程修了。医学博士
 大阪府済生会吹田病院 心臓血管呼吸器外科、京都府立与謝の海病院、京都府立医科大学 助手、講師、准教授、京都府立医科大学大学院 医学研究科 呼吸器外科学 病院教授を経て、現職。
 専門は 外科学、呼吸器外科学、医療福祉工学。

■ 社長(研究者)から一言

「ちえづくり®」を起点に、デジタル&イノベーションで医療を洗練して人々の健康を支えたい。

9

モルミル株式会社

奈良医大・産総研・徳島大(発)ベンチャー企業

■ 事業内容・シーズ概要

分子を見る「モルミル」



「molmir(モルミル)」は分子(molecule)を見る(miru)という意味を込めた造語です。原子レベルで分子の動きを捉えることでALS(筋萎縮性側索硬化症)を含む難病の治療法を開発します。生物学・化学・物理学・工学・情報科学などの技術を融合させ、奈良医大・産総研・徳島大・農工大・がんセンターと、「自律的」かつ「分散型」の体制で研究開発を進めます。また、モルミルに参画している研究者の多くは、30代～40代の若手です。アカデミアの当事者として「大学生や大学院生・ポスドクなどを取り巻く日本の高等教育の環境を変えていきたい」という強い思いがあり、「日本の科学技術の人材プラットフォーム(インフラ・受け皿)」としての立ち位置を目指しています。

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

近年注目されている「相分離」した状態では、分子は常に動いているため評価が困難です。そのため、モルミルでは、動いた分子を評価するための技術開発を進めています。分析化学的手法「chemical-tongue」は、網羅性が高く、コストを低く抑えることができますが、詳細な情報を得ることができません。一方で、溶液NMR(核磁気共鳴法)は、網羅性は低く、解析に多くの時間とコストを要しますが、原子解像度の構造情報を得ることができます。産総研の富田が開発した分析化学的手法「chemical-tongue」と徳島大の齋尾が開発した「溶液NMRによる計測手法」を組み合わせることで、奈良医大の森が取り組んできた相分離における分子の動きを捉えることを目指します。

■ 連携業種・期待される効果

1. 相分離における分子動態評価で困っている企業さま
当社との連携により相分離を標的とした創薬を実現
2. アカデミアシーズの発掘を狙っている企業さま
当社との連携によりアカデミアシーズとのマッチングを実現

■ 基本情報

所在地: 奈良県橿原市四条町840番地
代表取締役: 森 英一朗
設立年月日: 2022年6月21日
会社HP: <http://www.molmir.co.jp/>
資本金: 50,000円(資本準備金50,000円)

■ 登壇者紹介・略歴 森 英一朗



奈良県立医科大学医学部准教授、博士(医学)
奈良県立医科大学卒業、同大学院医学研究科修了
2009年4月 奈良県立医科大学附属病院臨床研修医
2011年9月 米国テキサス大学研究員
2017年4月 奈良県立医科大学医学部
2022年6月 モルミル株式会社設立

■ 社長(研究者)から一言

日本のアカデミア研究者で力を合わせて、アカデミアの研究成果を社会実装していきます。

10

近畿大学

■ 事業内容・シーズ概要

自由に行動出来て
中腰姿勢をサポートする
ウェアラブルチェア

工場や農場、医療現場における作業時の中腰姿勢での負担軽減を目的としたウェアラブルチェアです。駆動源が無いので軽量で長時間利用にも適しています。特許取得済みの形態切り替え機構によって広い可動域と体重支持を両立しました。



■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

ヒトの感覚運動制御の仕組みを解明することを目指して、感覚や運動を計測する技術・解析する技術、それらの知識を利用した応用システムの研究を行っています。

生体計測工学研究室



研究シーズ

■ 連携業種・期待される効果

1. 作業者の腰痛でお困りの企業さま
当研究室のウェアラブルチェアで作業負担の軽減を実現
2. 技能継承やスキルトレーニングの課題解決をお考えの企業さま
当研究室の運動計測および解析技術で暗黙知のデータ化を実現

■ 基本情報

所在地: 〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
大学法人名: 近畿大学
大学HP: <https://www.kindai.ac.jp/>
研究室: 生体計測工学研究室
研究室HP: <https://bsl.emat.kindai.ac.jp/>
Instagram: bsl.kindai

■ 登壇者紹介・略歴 池田 篤俊



2004～2007年 ヤマハ発動機勤務。2010年 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。その後、日本学術振興会特別研究員(PD)を経て、2011～2014年 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教、2015～2021年 近畿大学理工学部機械工学科講師、2022年より同エネルギー物質学科講師となり現在に至る。
人間の感覚・運動計測システムやモデリング、それらの応用システムについて研究開発を行なう。

■ 社長(研究者)から一言

研究とビジネスの間にある谷を埋め、身近なQWLの向上を目指します！(QWL: Quality of Worklife)

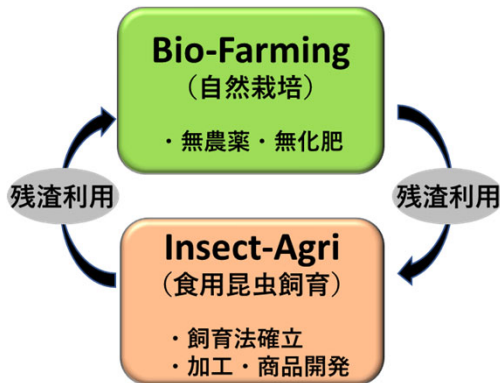
11 未来食研究開発センター株式会社 京都府立大学(発)ベンチャー企業

■ 事業内容・シーズ概要

未来食研究開発センター(株)は、現代社会が抱える「食」に関する問題を解決します

- ① Bio-Farming(自然栽培)による農作物生産
- ② 食用昆虫飼育と商品開発
- ③ 環境循環型アグリシステム
- ④ 米のタンパク質分析

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)



環境循環型アグリシステムの考え方

■ 連携業種・期待される効果

食品関連の業界の皆様との各種相談に応じております
 ＊耕作放棄地の有効利用、副業(週末農業)
 ＊食用昆虫を使った食品開発や産業利用
 ＊会社でのマイクロ環境循環アグリ
 ＊米の品質向上、加工品の分析・アドバイス

■ 基本情報

所在地：〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東3-3-1 ナント駅東ビル2F
 代表取締役：増村 威宏
 設立年月日：2022年6月30日
 会社HP：[未来食研究開発センター株式会社 \(studio.site\)](http://studio.site)
 資本金：1,000,000円

所在地：〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5
 大学法人名：京都府立大学
 大学HP：[京都府立大学 \(kpu.ac.jp\)](http://kpu.ac.jp)

■ 登壇者紹介・略歴 増村 威宏



1989年3月 京都府立大学大学院農学研究科博士課程修了
 1989年4月 日本ケミカルリサーチ株式会社入社
 1992年9月 京都府立大学農学部・助手
 1997年4月 同・講師および京都府農業資源研究センター・主任研究員(併任)
 2015年4月 京都府立大学大学院生命環境科学研究科・教授
 2020年4月 京都府立大学・副学長/教授
 2022年6月 未来食研究開発センター(株)設立

■ 社長(研究者)から一言

設立間もない企業ですが、食品の新しい形を研究開発し、未来の食を作り出そうと頑張っていますので、ご期待ください。

12 株式会社クロステック・マネジメント 京都芸術大学(発)ベンチャー企業

■ 事業内容・シーズ概要

1. 新製品・サービス開発支援

各企業様がお持ちの技術や基礎研究の内部リソースを元に、新製品・新サービスのアイデア創出支援。
 豊富な人的資源を用いたアート思考・デザイン思考を活用したイノベーションを誘発を行う「開発ワークショップ」も実施。

2. 共創パートナーのコーディネート

伝統工芸、アート、デザイン、地域開発、海外研究機関、テクノロジーなど、各企業・自治体様の抱える課題解決につながる専門性を有するネットワークの構築支援。

3. VC(ベンチャー・キャピタル)

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

1. アート思考、デザイン思考を活用した新製品・サービス開発支援

弊社には、一般的な大学発ベンチャーと異なり、「シーズ」となる基礎研究がありません。

その一方で、各企業様がお持ちの技術や基礎研究を元に、アート思考・デザイン思考を活用した魅力ある新製品・新サービスのアイデア創出を行うことができる点が、弊社の強みです。

2. ブランディング・マーケティングへの支援

弊社の出資企業には、熊本県のPRキャラクター「くまモン」のプロデュースや、大阪・関西万博のテーマ事業プロデューサー(「いのちをつむぐ」)の小山薫堂が代表を務める「オレンジ・アンド・パートナーズ」があります。企画によるコミュニケーションを通じたブランディングを強みとしています。

また、学校法人瓜生山学園は、日本最大の学生数を有する京都芸術大学を設置する他、保育園、通信制高校、専門学校、日本語学校など0歳から96歳まで約2万人の生徒・学生がおり、そうした他世代・他地域を対象としたマーケティングの支援もおこなっています。

3. VC(ベンチャー・キャピタル)

アート、デザイン、教育分野のDX化、Web3、メタバース、食、音楽・エンターテインメントなどのコンテンツ分野の成長に寄与するスタートアップを投資対象とする日本初・芸術大学発の投資ファンドも組成し、主にプロトタイプング期、シード期、アーリー期までを重点的に投資対象として支援しています。

■ 連携業種・期待される効果

・シーズはあるが、そこからの製品やサービスの創出に悩む企業
 ・製品やサービスはあるが、そのブランディングに悩む企業

■ 基本情報

所在地：〒606-8271
 京都市左京区北白川瓜生山2番地116号
 (京都芸術大学内)代
 表取締役：北村 誠
 設立年月日：2016年10月27日
 社HP：<http://xtech-m.co.jp>/資
 本金：25,777,500円

所在地：〒606-8271
 京都市左京区北白川瓜生山2番地116号
 大学法人名：学校法人瓜生山学園
 京都芸術大学
 大学HP：<https://www.kyoto-art.ac.jp/>

■ 登壇者紹介・略歴 吉田 大作



・株式会社クロステック・マネジメント取締役
 ・京都芸術大学クロステックデザインコース准教授
 ・京都芸術大学スタートアップ支援室長
 企業や自治体から依頼を受けた様々な課題解決に取り組む傍ら、教員向けの研修、保護者向けの講演など1年間に100以上の講演依頼を受け、各機関で毎年国内外2万人を対象に講演を行う。教育×企業×行政を結んだ「芸術教育の社会実装」のモデル構築を行っている。

■ 社長(研究者)から一言

株式会社クロステック・マネジメントおよび学校法人瓜生山学園京都芸術大学は、教育プログラムの開発・改善、新投資ファンドの組成、新規事業にチャレンジをしたい人が集まれる「場づくり」を連動させておこなっています。

その一連の取り組みによって、本学、他大学、スタートアップ、アクセラレーター、投資家、企業、自治体等と連携した「芸術大学発スタートアップ・エコシステム」の構築を行っています。

そうした取組から、私たちの強みであるアート思考、デザイン思考を活用し、地域や企業の抱える課題と向き合い、社会に新しい価値を生み出すことを目指しています。弊社の資源が、「シーズはあるけど、デザインが弱い」「どうブランディングして良いかわからない」という悩みを抱えるみなさんとの共創の一助となれば幸いです。

13

株式会社サルス研究所

大阪公立大学(発)ベンチャー企業

■ 事業内容・シーズ概要

健康寿命延伸に貢献する植物由来多機能性素材の開発

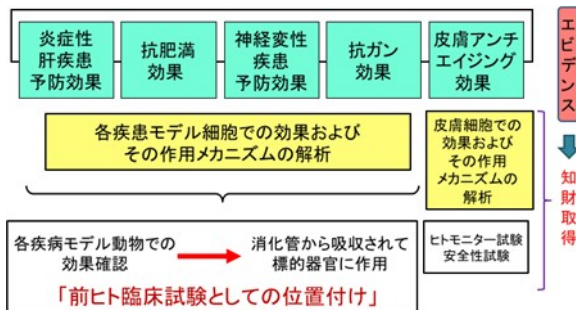
認知症をはじめとする生活習慣病の予防に有効な食品成分を発掘し、それらの科学的根拠を明らかにした健康食品や化粧品等の製造および販売を行います。また、他社で検討中の新規または既存の食品成分に対しても、独自の評価モデルによってその効果を立証するための食品成分機能性評価センターとしての役割を担います。

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

食品成分が有する生理活性機能を知り、これを活かすことは健康増進・疾病予防に欠かせません。

我々は以下の5つのテーマを掲げ、多機能性食品成分を見出し、その作用メカニズムを明らかにしています。

一例として、ナンキョウに含有する主要機能成分(ACA)がグルコースの代替エネルギー源として内因性ケトン体濃度を亢進させて神経細胞障害を抑制し、抗認知症効果をもたらすこと、およびこのケトン体が高機能成分による抗肥満効果によって生じる脂肪酸から生成されることを見出しました。



■ 連携業種・期待される効果

- ヘルスクレームを訴求したい食品、健食、サブリ開発を目指す企業さま機能性表示食品用原料として販売します。
- 新規機能性食品成分の自社開発を目指している企業さま当社との連携により、幅広い機能性評価について研究・開発をお手伝いし、機能性食品成分の科学的根拠を提供します。

■ 基本情報

所在地: 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪公立大学インキュベーター内
代表取締役: 湯浅 勲
設立年月日: 2022年1月26日
会社HP: 作成中
資本金: 990万円
大学HP: <http://kojima-yuasa-lab.sakura.ne.jp/about.html>

■ 登壇者紹介・略歴

小島 明子



大阪公立大学大学院生活科学研究科・准教授
博士(学術)
専門分野: 栄養機能科学、病態栄養学
1988年 大阪市立大学生活科学部食物学科卒業
2004年 大阪市立大学(2022年より大阪公立大学)
大学院生活科学研究助教授(現・准教授)
2022年 株式会社サルス研究所取締役CTO

■ 社長(研究者)から一言

日常的に摂取できる食品から、抗肥満効果と同時に認知機能改善効果の見込める多機能性食品成分を見出し、誰もが多様な幸せ(well-being)を実現するための一助としたい。

14

Nano-Q (設立予定)

大阪公立大学

■ 事業内容・シーズ概要

光を用いてプラズマ、宇宙線により発生する静電気を検知する装置を開発

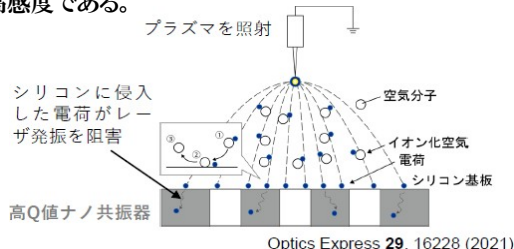
宇宙が民間に開かれ、高い成長率で宇宙産業が成長することが期待されるので、民間が打ち上げる多数の人工衛星に搭載することが可能な静電気検知センサを超高Q値を有するシリコン光ナノ共振器を用いて開発した。

本静電気検知センサは、工場やプラントなどものづくりの現場で発生する静電気の検知にも活用でき、宇宙産業からものづくり分野へと幅広い活用が期待できる。

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

プラズマを照射するとレーザ発振が停止し、電荷が消えると発振が回復することを発見し、この技術をシリコンラマンレーザ静電気検知センサに応用した。

本静電気検知センサは、検知に光を利用してPN接合を用いていないため、センサ自身が静電気で壊れることはない。プラズマ下で動作するのでESDの原因にならず、光ファイバー網によって広範囲化が可能とである。さらに、高Q値ナノ共振器により、安定動作、高信頼性、高感度である。



■ 連携業種・期待される効果

- 静電気対策、ESDで困っている研究機関や企業(半導体・電子機器、化学・産業プラント、ケーブル等)
- 宇宙産業に関わっている研究機関や企業
JAXAを始め国内外の研究機関と共同研究を実施し、ニーズに応じたカスタマイズモデルを開発した。

■ 基本情報

所在地: 大阪府堺市中区学園町1番1号
大学法人名: 大阪公立大学
大学HP: <https://www.omu.ac.jp>
研究者HP: https://kvoiku-kenkvudb.omu.ac.jp/html/100001934_ja.html
本研究開発は、2021年度大学発新産業創出プログラム起業実証支援「事業で「宇宙産業で安全に使用できる静電気検知技術の開発」として推進中である。

■ 登壇者紹介・略歴

高橋 和



大阪公立大学 大学院工学研究科 准教授
JSTさがけにて世界最高Q値のシリコンラマンレーザを開発、シリコンフォトニクスの第一人者

■ 社長(研究者)から一言

宇宙産業における安全航海の市場は今後大きく成長することが見込まれるが、まずは工場やプラントなどのものづくり現場での利用を期待する。

15

株式会社Luxonus

京都大学(発)ベンチャー企業

■ 事業内容・シーズ概要

光超音波技術を応用した新しい画像撮影装置の製品開発・販売

光と超音波を融合した光超音波3Dイメージング技術を用いて、被ばくがなく安全で簡単に超高解像度3D画像を撮影できる画像撮影装置(光超音波イメージング装置)と独自の画像ビューアを開発しています。

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

光超音波イメージング装置は、生体にパルス光を照射した際に発生する超音波を特殊なセンサで捉え、信号データをコンピュータ解析し、画像化する装置です。

(装置特長)

1. 非侵襲・無被ばく、専用の部屋を必要としない
2. 0.2mmの高解像度3D画像
3. リアルタイム3D動画
4. これまでに無かった3D画像(酸素飽和度、リンパ管)

既存のCT、MRI、超音波とと比較しても、高解像度です。画像検査としての臨床応用だけでなく、手術計画や投薬効果検証への活用が期待されています。また、臨床用だけでなく小動物を対象とした基礎医学研究分野の市場向けにも製品を提供しています。



■ 連携業種・期待される効果

1. 医療機器や実験動物用機器で新しい商品をお探しの企業さま
当社との連携により、画像診断や検査分野での新製品の販売を実現
2. 医療分野への事業展開や投資を検討されている企業さま
当社との連携により、画像診断市場での新規事業化を実現

■ 基本情報

所在地: 神奈川県川崎市幸区新川崎7番7号

代表取締役: 相磯貞和

設立年月日: 2018年12月11日

会社HP: <https://www.luxonus.jp/>

資本金: 1.6億円

所在地: 京都府京都市左京区吉田本町

大学法人名: 国立大学法人京都大学

大学HP: <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja>

■ 登壇者紹介・略歴 八木 隆行



(株)Luxonus、取締役CTO

1983年東京工業大学修士課程修了、キヤノン(株)入社。インクジェットプリンタヘッドやカメラ用光学デバイスなど新技術の実用化を多数経験。2005年先端融合研究所所長。文科省「先端融合領域イノベーション創出拠点形成プログラム(京大・キヤノン協働プロジェクト)」の同社代表を務め、光超音波の開発に着手した。2014年に内閣府ImPACTプログラム・マネージャーに採用され、光超音波開発を推進。2019年ImPACT終了後、現職。

■ 社長(研究者)から一言

弊社技術によって「血管・リンパ管の画像から身体を診る」という新しい医療の形がつけられることを私たちは目指しています。

16

アフォードセンス株式会社

兵庫県立大学(発)ベンチャー企業

■ 事業内容・シーズ概要

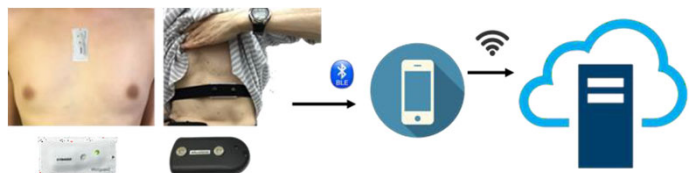
いつでもどこでもVitalgram®

健康で安全・安心な暮らしを

1. ウェアラブル・マルチ生体センサーの開発・試作・販売
2. 高品質な生体データの収集・蓄積と利用サービスの提供

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

1. 小型・軽量で深部温も計測可能なマルチ生体センサー
・心電、心拍、呼吸、自律神経活性化指標、皮膚温、深部温(推定)、発汗等の生体情報やモーションおよび姿勢情報のリアルタイム計測
2. 生体センサーからクラウドサービスまで一気通貫
・センサーデータはスマホを介してAWSクラウドサーバーに蓄積
・サーバ上での各種解析アルゴリズム(概日リズムによる睡眠の質判定、モーションと生体信号の紐づけによる熱中症等の体調判断、自律神経指標によるストレスや疲労判定)



Vitalgram2 (パッチ型) VitalgramCT2 (ベルト装着型)

スマホ AWSクラウドサーバー

生体データ収集プラットフォーム

■ 連携業種・期待される効果

1. 睡眠改質サービスを狙っている企業様
 2. 生活習慣改善サービスを狙っている企業様 3
 - ・従業員の熱中症予防で困っている企業様 4
 - ・ドライバーの疲労管理を考えられている企業様
- 当社と連携して上記個別サービスを実現

■ 基本情報

所在地: (本社) 横浜市神奈川区白幡上町

(活動拠点) 姫路市書写2167

兵庫県立大学インキュベーションセンター

代表取締役: 樋口 行平

設立年月日: 2013年11月18日

会社HP: <http://www.affordsens.com>

資本金: 1千万円

■ 登壇者紹介・略歴 樋口 行平



最終学歴: 東京大学大学院博士課程修了

職歴: 日本電気(株)定年退職 2008~

2013: 科学技術振興機構

ERATO前中プロジェクト技術参事

2013~: アフォードセンス(株)代表取締役

■ 社長(研究者)から一言

Vitalgramは世界でも類を見ない特徴ある生体センサーです。本センサーが収集したデータとその解析アルゴリズムを用いて一緒に遠隔ヘルスマニタリングサービスを行いませんか。

17

立命館大学

研究シーズ

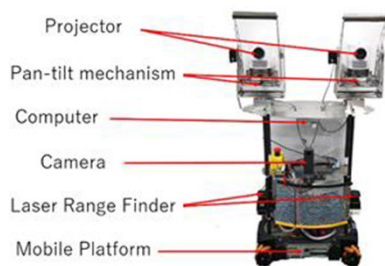
■ 事業内容・シーズ概要

人間中心情報投影ロボットUDによる
歩行者の視野に自然に入る動的な広告

Ubiquitous Display (UD)とは、プロジェクタを用いて人間に情報提示を行うロボットである。ショッピングモール、地下道、建物内などの室内空間で移動している人の視線の先の地面や壁面にUDが情報を投影することによって自然に目に入る広告を行うことが可能である。UDは移動ができ、さらに搭載しているプロジェクタ上下左右に移動させることができるため、既存の定置広告とは異なる、人の動きに合わせた動的な広告が可能である。さらに投影された情報と人がインタラクションを行うことも可能であるためこれまで存在しなかった広告を実現することができる。

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

UDは、10年以上前から研究してきたノウハウが集約された製品である。単に広告情報をプロジェクタで投影するのではなく、センサを用いて人の位置、移動方向を把握して最適な位置に広告情報を投影する。



また、センサによって人がその広告情報に興味があるかも判断ができるためインタラクティブに広告内容を変更することも可能である。

■ 連携業種・期待される効果

1. 新しい広告の実現を目指している企業さま
当社との連携によりこれまでなかったアクティブな広告を実現
2. ショッピングモール運営会社・映画館運営会社
店舗内の案内や購買意欲を駆り立てる広告の提案

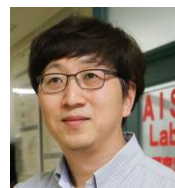
■ 基本情報

所在地: 滋賀県草津市野路東1丁目1-1

大学法人名: 立命館大学

大学HP: <https://www.ritsumei.ac.jp/>

■ 登壇者紹介・略歴 李 周浩



東京大学 博士(工学)
カーネギーメロン大学客員研究員
高麗大学 研究教授
(現)立命館大学 情報理工学部 教授

■ 社長(研究者)から一言

新しいビジネスに挑戦したいです！

18

滋賀県立大学

研究シーズ

■ 事業内容・シーズ概要

◆ 熱音響技術

冷媒もポンプも不要の熱利用技術

あまり聞きなれない熱音響現象について説明させていただきます。熱音響現象とは、これまでの音響現象とは異なり、断熱変化では表すことで出来ない。非常に面白いふるまいをします。

この熱音響現象を応用すると、これまでにない冷却システムを作ることが可能となります。熱音響システムは、入力源を選ばないことが最大の長所と考えられ、太陽熱エネルギーなどの自然エネルギー、電子部品、自動車や工場などの廃熱を入力源として利用することが可能となります。

可動部が無く構造が簡単のため信頼性が高いことなどが長所として挙げられる。我々は、この魅力的な熱音響システムの実用化を目指して研究を進めています。

◆ 超音波エレクトロニクス

医療分野も含めた幅広いセンシング技術

医療分野など新たなセンシングの方法を研究

◆ モーターの故障解析

故障予知に向けて新しい方法を考案

時系列予知では検証が難しかった故障予知に向けて、エネルギー保存則を考慮した新しい方法を研究。

■ 連携業種・期待される効果

1. 廃熱利用を考えておられる企業さん
熱音響技術による廃熱利用にチャレンジしてみませんか
2. 医療関係者/医療関係の企業さん
浮腫の定量診断の開発に取り組んでいます
3. 予知保全に力を入れておられる企業さん
モーターの故障予防診断技術に取り組みませんか

■ 基本情報

所在地: 滋賀県彦根市八坂町2500

大学法人名: 公立大学法人滋賀県立大学

大学HP: <https://www.usp.ac.jp/>

■ 登壇者紹介・略歴 坂本 眞一



滋賀県立大学 工学部
電子システム工学科 准教授
東レ株式会社、日本学術振興会 特別研究員を経て
同志社大学大学院 工学研究科
電気工学専攻 博士課程(後期課程)
2005年より同志社大学 工学部特別研究員
2008年より滋賀県立大学 工学部
現在、工学部 電子システム工学科 准教授

■ 社長(研究者)から一言

『熱音響』、『超音波エレクトロニクス』、『エネルギー・環境』3つのキーワードを基に、『つかえる技術』をコンセプトに研究しています。未利用熱エネルギー(廃熱や太陽熱など)を効率よく利用することを研究しております。また、音響センサー、超音波センサーの開発、応用システムの開発も行っております。shin1sakamoto.com も参照ください。

19 ネクスファイ・テクノロジー株式会社

大阪大学(発)ベンチャー企業

■ 事業内容・シーズ概要

高電圧をつくる・あやつる

次世代パワーデバイスである炭化珪素 (SiC) 半導体デバイスを活用した、革新的な高電圧機器の開発・生産を行っています。他にはまねのできない独創的技術により次世代・未来の豊かな社会づくりに貢献します。

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

【SiC高電圧スイッチモジュール】



耐電圧1 kVクラスのSiCトランジスタを独自技術により直並列接続・制御し、20 kVを超える高速・高電圧スイッチングモジュールを実現！50ns以下の高速スイッチングが可能！また、チップ実装を独自で行い冷却効率を上げること、これまでにない大電力を実現！

【SiCインパルス発生器】

独自の高電圧発生回路とスイッチングモジュールを組み合わせることで、より400pps以上の高繰返しインパルス発生器を開発。高周波時代の絶縁試験やナノパルスプラズマ電源として最適！



高電圧機器のSolution提案いたします！

■ 連携業種・期待される効果

1. 電力分野など高電圧機器 (数kV~数百kVまで) 高速動作により機器の高効率化・小型化！
 2. モーターメーカー、電子部品メーカー 高電圧・高速な絶縁破壊試験を実現！
 3. 表面改質などプラズマや放電加工を扱う業種 高品質なプラズマ・放電が発生可能！
- その他、高電圧機器でお困りの方はカスタム対応いたします！！**

■ 基本情報

所在地:大阪府吹田市山田丘2番8号 テクノアライアンスC棟
代表取締役: 中村 孝
設立年月日: 2021年6月4日
会社HP: <https://www.nexfi-tech.com/>
資本金: 18,460万円 (2022年4月時点)

■ 登壇者紹介・略歴 中村 孝



1990年4月 ローム株式会社入社
2014年5月 同社 研究開発本部 統括部長
2014年9月 福島SiC応用技術株式会社 社外取締役
2017年4月 大阪大学大学院工学研究科 招聘教授 (現職)
2017年4月 福島SiC応用技術株式会社 常務取締役
2019年1月 同社 取締役副社長
2021年6月 ネクスファイ・テクノロジー株式会社 代表取締役社長 (現職)

■ 社長(研究者)から一言

当社は大阪大学での研究成果を実用化すべく産声を上げたばかりです。高電圧機器分野の技術革新を目指して取り組んでおります。今後とも、愛顧と一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

20 株式会社fineOptimAI

大阪工業大学(発)ベンチャー企業

■ 事業内容・シーズ概要

限界を超える最適化でパラダイムシフトを起こす

組み合わせ爆発を起こすクラスの組み合わせ最適化問題に対応可能な技術「 ϕ 法」が我々の技術シーズです。最適化機能を持つ新たなAIとお考えください。

我々は本シーズを用いて、企業課題の中に組み合わせ最適化問題が潜んでいる現場を対象にこれまでに無い成果が出せるようなサービスを作り上げていきます。

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

我々の技術シーズ「 ϕ 法」には、①従来の良い解を起点に探索が行える、②複数のノウハウ(例:食品スーパーであれば、売り場担当、仕入れ担当、経営者など)を全て活かした探索が可能、といった特長があります。また、その効果として組み合わせ爆発を起こすクラスの問題に対して一般のPC程度の計算機資源で有効な解を提示できる能力があります。

一例として、研究者がこれまで研究対象としてきた港湾のコンテナ船積みに関するスケジューリング問題では、従来手法と比較してコンテナの移動回数ベースで9倍の効率化ができることを確認しています。

■ 連携業種・期待される効果

- ・食品スーパーの仕入れ最適化
- ・港湾運送業務(コンテナの船への積み降ろし)の改善
- ・生産工場の工程スケジュール改善
- ・工場等のAGVの経路最適化

■ 基本情報

株式会社fineOptimAI(大阪工業大学発ベンチャー)
所在地:さいたま市浦和区
代表取締役:黒田 規義
設立年月日:2021年12月28日
資本金:300万円

■ 登壇者紹介・略歴 黒田 規義



1991年 岡山大学工学部情報工学科卒業後、情報系企業にてSEに従事
2001年 より まぐクリック(現、GMOアドパートナーズ)にて新規事業開発等のシステム面を担当
2006年 からは老舗美容教材メーカーで新規事業開発を担当
2014年 本シーズの事業化を目的とする株式会社イノコネを設立、今に至る

■ 研究者から一言 技術担当取締役 平嶋 洋一

我々の技術シーズが多く企業の現場で有効に機能するであろうことが、ベンチャーの活動を通じて予想から確信に変わっています。是非、具体化に向けてお力をお貸しください。

21

大阪医科薬科大学

研究シーズ

■ 事業内容・シーズ概要

病院食のAIによる最適化

～美味しくて、オイシイ病院給食を目指して～

大阪医科薬科大学では、他大学や企業との共同研究のほか、行政や地域の力を借りた産官学連携の研究も積極的に実施しており、大学の研究シーズのほか、大学病院という医療現場におけるニーズの発信についても力を入れて行っております。

本登壇では、大学病院が抱えている病院食における課題を共有し、産学連携における開発テーマについて提案します。

病院食は、入院患者数や病状に合わせて食事内容が変化するため食数把握が非常に困難であるといわれています。これまで大学病院で収集してきたデータをもとに、例えばAIの活用などにより、適正な食材発注と食糧ごとの調理量提示を行うことができれば「安全で、おいしく、むだなく」病院食を提供できるシステム開発が可能となります。

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

大阪医科薬科大学病院では、年間約600,000食以上の病院給食を提供しています。病院食の提供には不確定要素が多くある一方で、食事が無い・足りないなどといったことは許されず、かつ2週間前には食材発注をしなければならないため、どうしても廃棄ロスが発生してしまいます。

登壇者は、管理栄養士業務を行う中で、病院給食の質を高めるために日々合理化に取り組んでおり、本問題の背景の整理と解決手段について検討を進めています。合わせて、大学病院において蓄積された入院退院動向や食数・食事傾向といった情報が収集されていますので、データの提供や評価を行うことが可能です。

■ 連携業種・期待される効果

企業さまにお願いしたいこと

- ①AI等の技術により、『過不足のない食材発注 最適化システム』の開発
 - ②将来的には、患者さんごとの『AIによる最適食種リコメンドシステム』の開発
- 例: AI・ソフト開発、食材調達、メニュー開発、医業コンサルタントなど

■ 基本情報

所在地: 〒569-8686 大阪府高槻市大学町2

番7号大学法人名: 学校法人大阪医科薬科大学

大学HP: <https://www.omp.ac.jp/>

大学病院HP: <https://hospital.omp.ac.jp/>

■ 登壇者紹介・略歴 志水 晃介



大学卒業後、外食産業やテーマパーク レストランでの勤務を経て大学病院 栄養課でマネジメント業務に従事。
夢は、今までの経験を生かして入院患者給食業務をサポートするベンチャー企業を設立し合理的で無駄のない美味しい食事を患者に提供する病院を増やし社会に貢献すること。

■ 登壇者から一言

食材費用だけでなく食糧問題や働き方改革、美味しさと収益いずれにも大きく貢献できると信じています。

22

株式会社キューブ

関西大学(発)ベンチャー企業

■ 事業内容・シーズ概要

1. 関西大学発技術を用いた新しい“機能性きのこ”の開発
2. “JAながの”と関大との共同開発

関西大学化学生命工学部老川典夫研究室の開発してきた技術を用い、機能性を強化した新しいキノコをJAながのと共同開発しています。この技術を用い、2022年度は、3種のアミノ酸(グルタミン、アルギニン、オルニチン)含有値が向上した「ぶなしめじ」を開発しました(特許出願中)。

この取組みは、関西大学発ベンチャー企業である(株)キューブのプロデュースの下、本学の商学部と化学生命工学部の文理融合を指向した新しい産学連携のシステムでもあります。

■ コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

(1) 関西大学が蓄積したオリジナル技術
老川典夫研究室の開発してきた技術に基づくD/L-アミノ酸の定量と機能性食品の開発

(2) 農産物の生産に関する技術力とブランド

・ JAながのが長年蓄積したきのこ栽培技術と品質管理技術。
・ きのこ栽培農家との関係に基づく、生産力。

(3) 大学との連携による新しい価値と市場開発

・ 商学部の現役学生が参加しマーケティングプランのアイデア出しをする新しい価値観の創出。
・ 関大発ベンチャー企業である(株)キューブの持つ様々なネットワークの活用



新しい食生活に対する提案と農業イノベーション、地域振興を実現する可能性。

■ 連携業種・期待される効果

1. 食を通じた新しいビジネス展開を考えている企業(Explorationの効果)
→新しい価値と市場創造を産学連携で実現
2. 大学との連携により、既存ビジネスを深耕したい企業(Exploitationの効果)
→既存ビジネスの再定義とシーズを活用し、既存市場を深耕
3. 新しい食材を取り入れたい飲食・食品企業、流通企業
→新たな機能と価値を持つきのこを用いた新市場開発

■ 基本情報

株式会社キューブ(Ku:P)

所在地: 大阪府吹田市山手町3-3-35

代表取締役: 西岡健一

設立年月日: 2017年11月

会社HP: <http://ku-p.co.jp/>

資本金: 500万円

Ku:P

所在地: 同上

大学法人名: 学校法人 関西大学

大学HP: <https://www.kansai-u.ac.jp/>

■ 登壇者紹介・略歴 西岡 健一



関西大学 商学部 教授
エジンバラ大学ビジネススクール博士課程修了(PhD)日本電信電話株式会社ネットワークサービスシステム研究所、西日本電信電話株式会社を経て、2009年から関西大学。

■ 社長(研究者)から一言

関西大学からの充実したサポートの下、活動をしています。新しい形の産学連携に協力して頂ける企業様と交流しております。

事業内容・シーズ概要

「バイオフィアウンドリー型藻類開発プラットフォーム」の構築と「藻類技術パッケージ」の提供

当社は京都大学をはじめとする大学や国立研究機関との協働による、20年以上にわたる東京大学時代からの藻類研究の技術基盤に加え、多種多様な藻類株ライブラリーと培養・育種製法を掛け合わせ藻類の実用化を推進しております京都大学・東京大学発の研究開発型ベンチャーです。「バイオフィアウンドリー型藻類開発プラットフォーム」の構築を通じて、藻類由来の新たなプロダクトやソリューション事業を立ち上げる企業へ最適な藻類の種株や培養製法などを技術提供するB2B型の開発プラットフォーム事業を京都大学イノベーションキャピタル等の投資のもと展開しています。

コア技術・製品情報・サービス(当社自慢)

顧客や市場ニーズによって最適な藻類種は異なっており当然である、という考えのもと、多種多様な藻類株ライブラリーから用途に適した藻類株をスクリーニングし、そして最適な培養製法を作り出していき、オーダーメイド型の技術開発をパートナー企業へ提供しています。我々の保有する藻類株ライブラリーは、単に株を大量に保有・保管している、という意味ではなく、株ごとにどのような特徴を保持しているのかというデータを保有している点に価値があると考えています。これによってあらゆるマーケットニーズへの対応が可能となります。

また、藻類を事業化させるためには、「藻類種の選定」「培養プロセスの開発」「大量培養の検討」「商業化サポート」というプロセスが必要ですが、多くの他企業はその一部分しか担っていません。当社は、このプロセスを一貫して提供しています。



連携業種・期待される効果

新たな製品・ソリューション開発をご検討の皆様、藻類を活用したサステナブルな事業開発をご一緒させて下さい。

健康食品、化粧品領域:機能性表示食品や健康食品の共同開発、睡眠やストレスなどの改善を訴求できる素材の共同製品化

食品領域:代替タンパク質や食品色素の共同開発

環境領域:二酸化炭素を活用した事業やバイオプラスチックの共同開発

基本情報

所在地:千葉県柏市柏の葉5-4-6

代表取締役:木村 周

設立年月日:2018年3月

会社HP:<https://algalbio.co.jp/>

資本金:非公開

登壇者紹介・略歴

木村 周



三井物産株式会社にて主に「食と農」「健康」領域での事業投資・経歴に携わる。米国駐在中に代替タンパクベンチャーBeyond Meat社への出資参画(取締役会オブザーバー)などフードテック領域での海外事業経験も豊富。2020年当社COOとして入社し、2021年代表取締役社長 CEOに就任。一橋大学商学部卒

社長(研究者)から一言

アルガルバイオは、京都大学・東京大学発ベンチャーとして「藻類の研究開発で、人々と地球の未来に貢献する」をスローガンに、藻類に秘められた可能性を引き出し「共生・循環型」社会の実現をステークホルダーの皆様と目指して参りました。より良い社会を次世代に繋いでいく為に、藻類を活用したよりサステナブルな事業構築に是非一緒にチャレンジさせて下さい。

大学名	登壇企業又は研究シーズ	主力製品の技術分野						想定される連携業種・産業分野
		ヘルスケア・ライフサイエンス	エレクトロニクス	医療機器	ロボティクス	環境・エネルギー	AI・VR・IoT	
								その他
1 奈良先端科学技術大学院大学	『ロボットラーニング研究』(仮)				●		●	製造・物流・小売業界でのロボット活用
2 神戸大学	『AIスマート空調』					●		空港、駅、商業施設、ビル空調
3 和歌山大学	株式会社 GI company	●					●	観光産業・教育産業・老人介護業者他
4 関西学院大学	視る社会実装プロジェクト						●	● 教育産業・塾・予備校他
5 同志社大学	株式会社 SOCRAH(ソクラ)						●	観光産業・教育産業・地域創生
6 和歌山大学	『蛍光プローブによる細胞内DNA イメージング』	●	●					創薬・医療機器メーカー
7 大阪大学	株式会社JIMED	●	●				●	病院・医療機器メーカー他
8 京都府立医科大学	YANCHERS株式会社			●			●	医療機器開発メーカー
9 奈良県立医科大学	モルミル株式会社	●						創薬
10 近畿大学	『触覚情報処理』				●			農業・工業作業従事者宛
11 京都府立大学	未来食研究開発センター株式会社							● 農業法人・食品業・地域創生
12 京都芸術大学	株式会社クロステック・マゼスト	●						● 伝統工芸、アート、デザイン、地域開発、海外研究機関、テクノロジー等
13 大阪公立大学	株式会社サルス研究所	●						● 機能性食品・健食・サブ開発業者
14 大阪公立大学	Nano-Q『シリコンラマンレーザーによる静電気検知』	●						● 産業プラント(静電気監視)、宇宙産業、電子機器、半導体機器
15 京都大学	株式会社Luxonus	●	●					医療機器メーカー・販売業者等
16 兵庫県立大学	アフォードセン株式会社	●					●	健康関連企業・運送・警備・建設業他
17 立命館大学	『知能システムを用いた知的インタラクション』	●		●			●	ショッピングモール・映画館等運営会社他
18 滋賀県立大学	『熱音響技術による冷却システム』	●	●	●				医療機器メーカー他
19 大阪大学	ネクスファイ・エレクトロニクス株式会社	●		●	●			高電圧機器・モーター・電子部品製造業等
20 大阪工業大学	株式会社fineOptimAI						●	● 食品スーパー・港湾運送業・メーカー工場
21 大阪医科薬科大学	『AI病院食』(仮)	●					●	● 病院・給食業者・外食産業他
22 関西大学	株式会社キューブ							● 食品・外食・流通企業他
23 東京大学・京都大学	株式会社アルガルバイオ	●			●		●	藻類バイオテックベンチャー